

# Involvement Forum 2010

平成 21 年度 県民たすけあい基金助成事業

社会福祉法人 訪問の家  
理事長

## 日浦美智江

社会福祉法人 長岡福祉協会  
高齢者総合ケアセンターこぶし園  
施設長

## 小山 剛

NPO法人 りとるらいふ  
理事長

## 片桐公彦

日 時

2010.03.22(Mon)  
13:00 ~ 17:00

(開場 12:00 ~)

会 場

リージョンプラザ上越  
新潟県上越市下門前446-2

入場料

無 料

今年もやってきました「インヴォルブメント・フォーラム」。

今年は「地域で暮らす」「ケアのカタチ」をテーマに掘り下げてみようと思う。

「地域で暮らすのだ」と私たちはわあわあ騒いできた。

でも、やればやるほど理念とシステムと技術がマッチしないといけなことが分かってきた。

理念はいいけど技術が足りない。介護者として優れているけど、それがシステム化されずに広がらない。

そんな葛藤がグルグル頭を駆け巡る。

そんな中、今年は「目の前の人を丁寧にケアする」という視点と同時に

「この国のケアの在り方」という壮大なテーマにも取り組んでみたい。

会場の空気をズームとアイリスとフォーカスをしなが、この二つのテーマを語り切ってみたいと思う。

NPO法人りとるらいふ理事長 片桐 公彦

## ▶ プログラム

12:00 開場

13:00 開演

13:10 講演 「この地域暮らすことを支えるために」  
日浦美智江 (社会福祉法人訪問の家 理事長)

日浦さんの存在を知ったのは「朋の時間」という日浦さんが理事長を務める「社会福祉法人訪問の家」のドキュメンタリー映画だった。障害のある人を地域で支えるための全てがそこにあった。その映像からは情熱と、覚悟と、深い愛情と優しさがあふれていた。この世界が尊く、誇り高く、美しいことを伝えてくれる。そんなお話が、聞けると思う。

15:00 講演 「この国のケアのカタチ  
～小山剛から見える風景～」  
小山 剛 (高齢者総合ケアセンターこぶし園 施設長)

小山さんの実践は障害分野から始まりそれから高齢介護の世界へとつながっていく。小山さんが語る「地域分散型」という思想は全国に広がり、共感を呼んでいる。これから先、高齢分野も障害分野もボーダーレスになっていくのでは？という私たちの見通しの中で、小山さんのお話を聞いてみたいと思った。

「この国のケアのカタチ」を語る上で小山剛さんは間違いなくキーパーソンだ。目を離さず、じーっと、聞いてみたい。

16:30 りとるの家開設と社会福祉法人りとるらいふ設立に向けて  
片桐公彦 (NPO法人りとるらいふ 理事長)

17:00 終了

## 日浦美智江



1938年 広島県出身  
1962年 広島女学院大学  
英文科卒業  
1972年 日本社会事業  
学校研究科卒業

1972年 横浜市立中村小学校訪問学級指導講師  
1980年 4月 横浜市在宅障害者援護協会理事  
1983年 障害者地域作業所『朋』指導員  
1986年 知的障害者通所更生施設『朋』施設長  
1998年 10月 横浜生活あんしんセンター  
業務監督審査会 委員  
2000年 社会福祉法人 訪問の家 理事長  
2001年 1月 横浜市社会福祉審議会 委員  
2003年 3月 横浜市障害者施策推進  
協議会 会長  
2005年 4月より社会福祉法人 十愛療育会  
理事長

## 小山 剛



1977年東北福祉  
大学卒業後、知的  
障害児施設「あけ  
ぼの学園」・重症  
心身障害児施設

「長岡療育園」の児童指導員を経て「高齢者総合ケアセンターこぶし園」に主任生活指導員として勤務。現在同センターの総合施設長。

リージョンプラザ上越 新潟県上越市下門前446-2

<http://www.city.joetsu.niigata.jp/sisetu/region/>

### ● バスをご利用の場合:

JR直江津駅→(富岡經由高田行き)→リージョンプラザ上越下車

JR高田駅→(富岡經由直江津行き)→リージョンプラザ上越下車

### ● 車をご利用の場合:

JR直江津駅から10分・JR高田駅から15分・JR春日山駅から7分

北陸自動車道:上越ICから3分(直江津方面)

お問い合わせ

**NPO法人りとるらいふ**

〒943-0891 新潟県上越市昭和町 2-20-2

TEL 025-522-5808 FAX 025-522-5868

E-mail [office.littlelife@gmail.com](mailto:office.littlelife@gmail.com)